

Syllabus Id	332
Subject Id	770
作成年月日	50121
授業科目名	日本語
担当教員名	高澤啓子
対象クラス	5年生留学生
単位数	1高専単位
必修 / 選択	必修
開講時期	通年
授業区分	語学
授業形態	講義
実施場所	留学生選択教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

主要教科目でない場合には形式自由

中級日本語終了

学習・教育目標	Weight	目標
		A
	B	工業技術を学ぶ上で基礎となる知識・能力
	C	国際的に通用するコミュニケーション能力の基礎及び異文化を理
	D	積極的に新しい知見を求め、様々な手段を通して必要な情報を収
	E	社会で活躍できる心身の健康を維持、増進する力および豊かな感性と表現力
(f) 日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力		

学習・教育目標の達成度検査

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

授業目標

主要教科目でない場合には形式自由

1. 論理的な文章の文体や表現、各種記号の使い方、引用の方法、参考文献の示し方などを学び、正確で適切な文
2. 定義などによる語の意味を明確に示す表現、論理的な関係を示す文型、思考の組み立て方等を学び、事実、自分

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	段落	段落の構成のしかた	
第2回	段落	段落相互の関係	
第3回	仕組みの説明	仕組みや状態の説明に使われる文型、「株式会社のしくみ」	
第4回	仕組みの説明	仕組みや状態の説明に使われる文型、「外国人の市政参加」	
第5回	歴史的な経過の	時間的な経過の説明に使われる文型・表現	
第6回	歴史的な経過の	事柄の枠組みをつかむための質問	
第7回	前期中間試験	まとめ	×
第8回	分類	分類に使われる表現・文型	
第9回	分類	分類に使われる表現・文型、「和語・漢語・外来語・混種語」	
第10回	定義	定義によく使われる文型・表現、定義される語、分類の範疇	

第11回	定義	定義によく使われる文型・表現、「道具とは」	
第12回	定義	定義によく使われる文型・表現、「バリアフリーとは」	
第13回	要約	一段落の文章の要約	
第14回	要約	複数の段落から成る文章の要約	
第15回	前期期末試験	まとめ	×
第16回	比較・対照	比較対照に使われる文型・表現、表・箇条書き	
第17回	比較・対照	比較対照に使われる文型・表現、「税金と福祉、スウェーデンとの比較」	
第18回	因果関係	因果関係に良く使われる文型・表現「お魚増やす植樹運動」	
第19回	因果関係	因果関係に良く使われる文型・表現「お魚増やす植樹運動」	
第20回	論説文	「パラサイト・シングル」	
第21回	論説文	「パラサイト・シングル」	
第22回	後期中間試験	まとめ	×
第23回	論説文	引用、論述の流れ	
第24回	資料の利用	図表や資料の説明、数値を使った表現	
第25回	資料の利用	資料の探し方	
第26回	資料の利用	資料の利用にあたっての留意点	
第27回	レポート作成	レポートの実例	
第28回	レポート作成	レポート作成	
第29回	レポート作成	レポート作成	
第30回	後期末試験	まとめ	×

課題

出典:教科書章末問題

提出期限:(例)出題した次の週

提出場所:(例)授業開始直後の教室、

オフィスアワー:

評価方法と基準

評価方法: **主要教科目でない場合には形式自由**

目標とした能力が身についたかどうかを、質疑応答、課題、定期試験で確認する。

評価基準:

前期試験30%、後期試験30%、課題レポート30%、授業態度・欠席減点10%

教科書等	『留学生のための論理的な文章の書き方』、二通信子・佐藤不二子、スリーエーネットワーク、
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。